第 16 講 【近代編】ヨーロッパのアジア侵略
PART1 西アジアの危機と変容

Chapter 1　アラビア半島とエジプトの状況／オスマン帝国の衰退

目標　イギリスがエジプトを保護国化した経緯を理解しよう。
オスマン帝国衰退のきっかけとなった出来事を知ろう。

1　アラビア半島の民族運動

18 世紀半ば　アラビア半島で〔　　　　　　　　　　〕がおこる

※**イブン＝アブドゥル＝ワッハーブ**によるイスラーム改革運動。預言者ムハンマドの教えに戻る原理主義を主張し，神秘主義や聖者崇拝を批判。

1744 年頃　ワッハーブ派が**リヤド**の豪族〔　　　　　　　　〕と協力して〔　　　　　　　　　　〕を建国

2　エジプトの保護国化

1798 年　**ナポレオン**率いるフランス軍に占領される（～ 99 年）

1805 年　オスマン帝国の軍人〔　　　　　　　　　　〕が**エジプト総督**に就任。旧勢力のマムルークを一掃して，近代化政策を推進

1818 年　オスマン帝国の要請に応じてアラビア半島に出兵，**ワッハーブ王国**を一時滅ぼす

1825 年　オスマン帝国の要請に応じて，**ギリシア独立戦争**に援軍を派遣

※見返りに**シリア**の領有と**エジプト総督の世襲権**を要求し，拒否される。

1831 年　第一次〔　　　　　　　　　　〕をおこす（～ 33 年）

→シリア領有に成功

1839 年　第二次**エジプト＝トルコ戦争**をおこす（～ 40 年）

1840 年　〔　　　　　　　　　　〕でシリアを返還，エジプト総督の世襲権は獲得

→**ムハンマド＝アリー朝**が国際的に承認される

1869 年　紅海と地中海を結ぶ〔　　　　　　　　〕が完成

→フランス人〔　　　　　　　　〕が指導。建設資金の出費がかさみ，エジプトの国家財政が破綻

1875 年　**スエズ運河株式会社**の持ち株を，イギリスの首相**ディズレーリ**が買収

→イギリスは運河の管理権を握り，エジプトへの内政干渉を強める

1881 年　軍人〔　　　　　　　　　　〕が**ウラービー運動**をおこす

※「**エジプト人のためのエジプト**」をスローガンに反乱を指導。

※**パン＝イスラーム主義**を唱える〔　　　　　　　　　　〕の影響を受ける。

1882 年　イギリスが出兵し，エジプトを事実上の**保護国**とする

3　オスマン帝国衰退のはじまり

16 世紀　スルタンの**スレイマン１世**のもとで最盛期を迎える

1683 年　第二次〔　　　　　　　　　　〕に失敗。オーストリアに撃退される

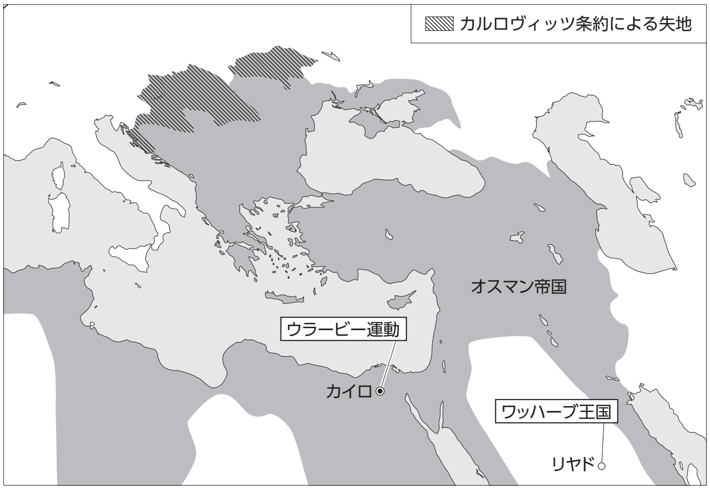
1699 年　〔　　　　　　　　　　〕で，オーストリアにハンガリー，トランシルヴァニアなどを割譲し，中央ヨーロッパから後退

18 世紀前半　**チューリップ時代**

※アフメト３世の治世下，西欧の影響を受けた華麗な文化が開花。

1789 年　セリム３世が第 28 代スルタンに即位。近代化改革を進める

※**イェニチェリ**（歩兵常備軍）の解体を目論むも失敗。廃位される。



オスマン帝国の支配領域の変遷

まとめ　イギリスはスエズ運河の株式を買収すると，エジプトへの内政干渉を強めた。第二次ウィーン包囲に失敗し，カルロヴィッツ条約で領土を失って以降，衰退していった。

Chapter 2　オスマン帝国の改革／イランとアフガニスタンの状況

目標　オスマン帝国の近代化がどのように進んでいったのかを知ろう。
カージャール朝のイラン民族運動を学ぼう。

1　オスマン帝国の改革運動

①**マフムト２世**の治世

1826 年　〔　　　　　　　　　　　　〕軍団を廃止，西欧式軍隊を創設

1829 年　**ギリシア**の独立を承認

1838 年　イギリスと**トルコ＝イギリス通商条約**を結ぶ

※イギリスに有利な関税率の設定など，片務的な不平等条約であった。

②〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

1839 年　**ギュルハネ勅令**を発布し，〔　　　　　　　　　　　　〕を開始

※司法，行政，財政，軍事，教育にわたる西欧化改革。全臣民の平等を認める **オスマン主義**のもと近代国家を目指す。

→保守派の抵抗にあい，挫折

1853 年　**クリミア戦争**がおこり，ロシアと開戦

→イギリス，フランスの支援を受けて勝利するが，戦費により財政危機に陥る

③〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕の治世

1876 年　〔　　　　　　　　　　　　〕を発布

※宰相**ミドハト＝パシャ**が起草したアジア初の憲法で，議会開設などを規定。

1877 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（露土戦争）勃発

1878 年　**アブデュルハミト２世**が戦争を理由に議会を解散，憲法を停止する

→アブデュルハミト２世が専制政治を復活

1878 年　ロシアに敗北。**サン＝ステファノ条約**を結ぶ

1878 年　**ベルリン条約**によりバルカンの諸民族の独立や自立が承認され，領土が縮小

2　イランの民族運動

1736 年　イラン高原の**サファヴィー朝**が，アフガン人の侵入を受けて滅亡

1796 年　**テヘラン**を首都として〔　　　　　　　　　　　　　　〕（トルコ系）が成立

1828 年　ロシアと〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕を結ぶ

→ロシアにアルメニアとアゼルバイジャン北半分を割譲

※治外法権やロシアに有利な関税率の設定などの不平等条約。

1848 年　〔　　　　　　　　　　　　〕がおこるが，政府軍が鎮圧

※サイイド＝アリー＝ムハンマドが指導し，農民や商人に拡大。

1891 年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（～ 92 年）

※政府がタバコ販売の利権をイギリス人に譲渡したことに，国民が反対。

→イギリスはタバコ利権を放棄。これを機にイラン人の民族意識が高まる

3　アフガニスタンの状況

1747 年　アフガン人が，カブールを首都として**アフガン王国**を建国

1838 年　第一次〔　　　　　　　　　　〕（～ 42 年）

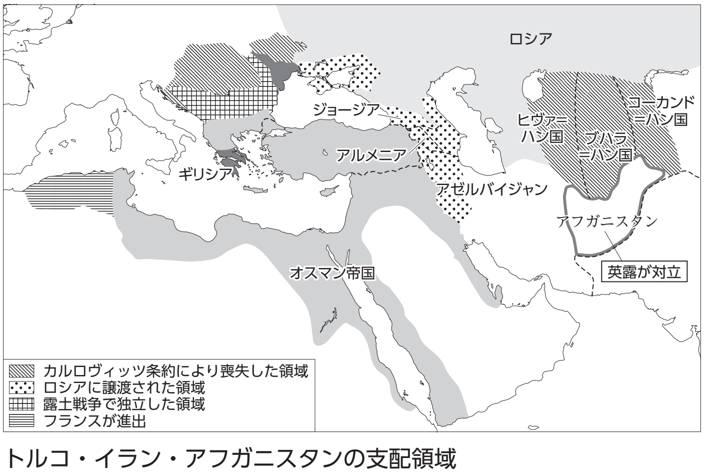
※イギリスとロシアの対立からはじまる。

1878 年　**第二次アフガン戦争**

1880 年　イギリスに敗れ，事実上イギリスの**保護国**となる

1907 年　イギリスとロシアが〔　　　　　　　〕を結ぶ

※イラン北部はロシア，南東部とアフガニスタンはイギリスの勢力範囲に。



トルコ・イラン・アフガニスタンの支配領域

まとめ

アブデュルメジト１世がタンジマートで近代化を行い，アブデュルハミト２世の治世ではミドハト憲法が成立した。

バーブ教徒の乱やタバコ＝ボイコット運動が発生した。

第 16 講　PART 1　確認問題

1　1744 年頃にアラビア半島に建国された王国はどれか。

①　マジャパヒト王国　　②　アフガン王国
③　ムガル帝国　　④　ワッハーブ王国

2　エジプトの財政難に乗じて，スエズ運河株式会社の株を買収したヨーロッパの国はどこか。

①　イギリス　　②　フランス
③　ロシア　　④　オスマン帝国

3　1881 年に「エジプト人のためのエジプト」をスローガンに反乱をおこした，エジプトの軍人はだれか。

①　ムハンマド＝アリー　　②　ウラービー
③　アフガーニー　　④　ティムール

4　オスマン帝国の最盛期を現出した第 10 代スルタンはだれか。

①　セリム 1 世　　②　スレイマン 1 世
③　メフメト 2 世　　④　セリム 3 世

5 オスマン帝国の近代化を目指して，タンジマートと呼ばれる西欧化改革をはじめた人物はだれか。

① アブデュルメジト1世　② アブデュルハミト2世
③ マフムト2世　④ アフメト3世

6 議会の開設などを定めた，ミドハト憲法を起草した人物はだれか。

① アブデュルハミト2世　② サイイド＝アリー＝ムハンマド
③ ミドハト＝パシャ　④ ムアーウィヤ

7 1877年におこった戦争はどれか。

① ギリシア独立戦争　② クリミア戦争
③ エジプト＝トルコ戦争　④ ロシア＝トルコ戦争

8 イランのカージャール朝が，ロシアにアルメニアなどを割譲することになった条約はどれか。

① サン＝ステファノ条約　② トルデシリャス条約
③ トルコマンチャーイ条約　④ カルロヴィッツ条約

第 16 講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：④　預言者ムハンマドの教えに戻ることを主張するワッハーブ派とリヤドの豪族サウード家が協力して，1744 年頃，**ワッハーブ王国**を建国した。

2 解答：①　**イギリス**は，財政難のエジプトからスエズ運河株式会社の株を買収して，運河の管理権を握った。

3 解答：②　1881 年，エジプトの軍人**ウラービー**が列強の支配に抵抗して反乱をおこした。

4 解答：②　**スレイマン 1 世**は，帝国の領土を拡大してオスマン帝国の最盛期を現出した。

5 解答：①　**アブデュルメジト 1 世**は，1839 年にギュルハネ勅令を発布し，大規模な西欧化改革（タンジマート）に着手した。

6 解答：③　ミドハト憲法は，1876 年に宰相**ミドハト = パシャ**が起草した。

7 解答：④　1877 年に**ロシア = トルコ戦争**がおこり，ミドハト憲法は，これを口実に停止された。

8 解答：③　カージャール朝はロシアとの戦争に敗れ，**トルコマンチャーイ条約**でアルメニアなどをロシアに割譲した。